

令和6年度 特別の教育課程（立川市民科）の実施状況等について

1. 学校名 立川市立第五小学校

2. 令和6年度 学校における自己評価（箇条書きでご記入ください。）

立川市民科の取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に住む様々な立場の方々に加え、地域貢献に努めている企業との関わりを通して、地域特有のよさに気づき、主体的・探究的な学習活動を実施することができた。 ・生活科や社会科を中心とした、各学年の教科指導と結び付けながら学習を深めることができた。また、SDGsに関する知識も深めることができた。
立川市民科の取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・年間の35時間のカリキュラムを基に各学年で、学習活動に取り組んでいるが、学校全体で系統性のある年間指導計画を検討する必要がある。

3. 令和6年度 学校評価に係る共通項目のうち

①対象：児童・生徒

項目：⑫立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

（割合）

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
56%	33%	8%	1%	2%

②対象：保護者

項目：⑪立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

（割合）

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
27%	45%	5%	0%	23%